

脳卒中指標一覧(各指標の出典については、ロジックモデル【指標出典情報】参照)

	計画策定時	R4年度	目標値(R5)
【全体目標】脳卒中による死亡が減少している			
脳血管疾患の年齢調整死亡率(男)(人口10万人対)	38.6	⇒	26.4
脳血管疾患の年齢調整死亡率(女)(人口10万人対)	20.0	⇒	16.6
脳梗塞の年齢調整死亡率(男)(人口10万人対)	18.6	⇒	下げる
脳梗塞の年齢調整死亡率(女)(人口10万人対)	9.8	⇒	下げる
脳出血の年齢調整死亡率(男)(人口10万人対)	15.7	⇒	下げる
脳出血の年齢調整死亡率(女)(人口10万人対)	5.3	⇒	下げる
くも膜下出血の年齢調整死亡率(男)(人口10万人対)	3.2	⇒	下げる
くも膜下出血の年齢調整死亡率(女)(人口10万人対)	4.1	⇒	下げる
【全体目標】脳血管疾患患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができる			
健康寿命(男)	71.50歳	⇒	延伸
健康寿命(女)	74.58歳	⇒	延伸
ADL改善率	63.1%	68.2%	上げる
脳卒中患者の再入院率(6か月後)	調査後	22.6%(参考値)	下げる
【普及啓発】脳卒中について正しい知識がある			
脳卒中について正しい知識を持つ人の割合	69.1%	70.8%	増やす
生活習慣や社会環境の改善			
食塩摂取量	9.4g	⇒	8g
朝食を欠食する人の割合(小学生)	5.3%	5.8%	0%
朝食を欠食する人の割合(若い世代:20~30歳代)	34.3%	⇒	15%以下
朝食を欠食する人の割合(40歳~74歳)	17.1%	17.6%	減らす
肥満傾向にある子どもの割合(男)	5.0%	6.16%	減らす
肥満傾向にある子どもの割合(女)	2.2%	4.63%	減らす
屋内禁煙を行っている飲食店の割合	調査後	⇒	増やす
愛顔の健康づくり応援店の数	307店舗	519店舗	増やす
循環器病の普及啓発・情報発信			
普及啓発の回数(脳卒中)	3回	⇒	増やす
【予防】脳卒中の発症を予防できている			
脳血管疾患により救急搬送された患者数	2,820人	⇒	
脳血管疾患受療率(入院)(人口10万人対)	152.0	131.0	
脳血管疾患受療率(外来)(人口10万人対)	98.0	82.0	
基礎疾患及び危険因子の管理の促進			
喫煙率(男)	26.5%	⇒	下げる
喫煙率(女)	6.7%	⇒	下げる
禁煙外来を行っている医療機関数(人口10万人対)	14.4	⇒	増やす
ニコチン依存管理料を算定する患者数(人口10万人対)	410.6	401.2	増やす
ハイリスク飲酒者の割合(男)	11.0%	⇒	9.5%
ハイリスク飲酒者の割合(女)	7.4%	⇒	6.4%
高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率(人口10万人対)	240.2	⇒	
高血圧症有病者率(男)	47.4%	47.3%	下げる
高血圧症有病者率(女)	34.9%	34.3%	下げる
脂質異常症患者の年齢調整外来受療率(人口10万人対)	65.4	⇒	
脂質異常症有病者率(男)	56.6%	56.6%	下げる
脂質異常症有病者率(女)	52.6%	51.9%	下げる
糖尿病患者の年齢調整外来受療率(人口10万人対)	96.5	⇒	

脳卒中指標一覧(各指標の出典については、ロジックモデル【指標出典情報】参照)

	計画策定時	R4年度	目標値(R5)
糖尿病有病者率(男)	13.2%	13.8%	下げる
糖尿病有病者率(女)	6.1%	6.4%	下げる
特定健診受診者のうちメタボリックシンドローム該当者数(人口10万人対)	2,833	⇒	減らす
特定健診受診者のうちメタボリックシンドローム予備群者数(人口10万人対)	2,214	⇒	減らす
運動習慣のある人の割合(男)	30.7%	31.4%	増やす
運動習慣のある人の割合(女)	27.5%	27.1%	増やす
市町および保険者が行う特定健診・特定保健指導の充実			
健診受診率(男)	73.0%	⇒	上げる
健診受診率(女)	66.5%	⇒	上げる
特定健診受診率	50.4%	⇒	70%
特定保健指導実施率	26.9%	⇒	45%
突然の症状出現時に急性期医療を担う医療機関への受診勧奨指示の促進			
神経・脳血管領域の一次診療を行う医療機関数(人口10万人対)	26.6	⇒	増やす
【救護】患者ができるだけ早期に専門医療機関へ搬送される			
救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間(分)	35.4分	36.9分	短縮
初期症状出現時・発症後に本人及び家族等による速やかな救急搬送要請の促進			
救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動	205回	⇒	増やす
救急救命士を含む救急隊員による活動プロトコールに則した適切な観察・判断・処置の実施			
救急隊の救急救命士運用率	94.5%	92.1%	上げる
MC協議会の開催回数	24回	⇒	増やす
救急活動の事後検証数(脳卒中)	185例	⇒	増やす
急性期医療を担う医療機関への迅速な搬送体制の整備			
脳血管疾患により救急搬送された圏域外への搬送率	圏域別	⇒	
【急性期】発症後早期に専門的な治療・リハビリテーションを受けることができる			
脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解法の実施件数(SCR)	34.2	71	
脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収療法等)の実施件数(SCR)	57.3	60	
くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数(SCR)	95.5	71	
くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数(SCR)	56.3	56	
脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数(急性期)(SCR)	64.1	86	
脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(SCR)	113.4	113	
脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実施件数(SCR)	118.7	75	
脳卒中中の急性期医療に対応できる体制の整備			
神経内科医師数(人口10万人対)	2.2	3.1	増やす
脳神経外科医師数(人口10万人対)	7.5	7.3	増やす
脳卒中の専門病室を有する病院数(人口10万人対)	0.1	⇒	増やす
脳卒中の専門病室を有する病床数(人口10万人対)	0.2	⇒	増やす
脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な病院数(人口10万人対)	1.0	⇒	増やす
経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術(脳梗塞に対する血栓回収術)が実施可能な病院数(人口10万人対)	1.2	⇒	増やす
t-PA輪番制など脳卒中に対応した体制を整備している地区数	1地区	⇒	増やす
誤嚥性肺炎等の合併症の予防および治療が行える体制の整備			
口腔機能管理を受ける患者数(急性期)(人口10万人対)	0.0	⇒	増やす
病院に就業している歯科衛生士数	95名	81名	増やす
廃用症候群を予防し、早期に自立できるリハビリテーション実施体制の整備			
リハビリテーションが実施可能な医療機関数(人口10万人対)	9.1	⇒	増やす
回復期の医療機関等との連携体制の構築			
脳卒中地域クリティカルパスを導入している医療機関数(人口10万人対)	13.1	⇒	増やす
自宅退院困難者に対する医療施設や地域の保健医療福祉サービスとの連携強化			
地域のサービスとの連携窓口を設置している医療機関数(人口10万人対)	14.2	⇒	増やす
【回復期】身体機能の早期改善のための集中的リハビリテーションを受けることができる			
脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数(回復期)(SCR)	113.7	114	
脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数(SCR)	124.5	126	
脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実施件数(SCR)	118.7	75	
在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合	圏域別	⇒	増やす

脳卒中指標一覧(各指標の出典については、ロジックモデル【指標出典情報】参照)

	計画策定時	R4年度	目標値(R5)
専門医療スタッフにより集中的なリハビリテーションが実施可能な医療機関の整備			
回復期リハビリテーション病床数(人口10万人対)	84.0	⇒	増やす
理学療法士数(人口10万人対)	92.5	⇒	増やす
作業療法士数(人口10万人対)	52.7	⇒	増やす
言語聴覚士数(人口10万人対)	13.9	⇒	増やす
再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理、合併症への対応が可能な体制の整備			
脳卒中リハビリテーション認定看護師数	6名	⇒	増やす
誤嚥性肺炎等の合併症の予防および治療が行える体制の整備			
口腔機能管理を受ける患者数(回復期)(人口10万人対)	0.0	⇒	増やす
病院に就業している歯科衛生士数	95名	81名	増やす
急性期および維持期の医療機関や施設、地域の保健医療福祉サービスとの連携体制の構築			
脳卒中地域クリティカルパスを導入している医療機関数(人口10万人対)	13.1	⇒	増やす
医療ソーシャルワーカー数(人口10万人対)	13.5	⇒	増やす
【維持期】日常生活への復帰、生活機能維持・向上のためのリハビリテーションを受けることができる			
訪問リハビリを受ける患者数・利用者数(医療)(人口10万人対)	177.7	179.3	
訪問リハビリを受ける患者数・利用者数(介護)(人口10万人対)	766.9	⇒	
通所リハビリを受ける利用者数(人口10万人対)	8339.5	⇒	
脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数(SCR)	124.5	126	
脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実施件数(SCR)	118.7	75	
薬剤師の訪問薬剤管理指導の実施件数(医療)(人口10万人対)	0.0	0.0	
生活機能の維持・向上のためのリハビリテーションの提供(訪問及び通所リハビリを含む)			
リハビリテーションが実施可能な医療機関数(人口10万人対)	9.1	⇒	増やす
訪問リハビリを提供している事業所数(人口10万人対)	3.7	⇒	
通所リハビリを提供している事業所数(人口10万人対)	10.2	⇒	
老人保健施設定員数(人口10万人対)	378.8	⇒	
再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理、合併症への対応が可能な体制の整備			
訪問看護を受ける患者数(医療)(人口10万人対)	501.1	542.3	増やす
地域連携薬局の数	12施設	32施設	増やす
回復期および急性期の医療機関等との連携体制の構築			
入退院支援を行っている医療機関数(人口10万人対)	5.8	⇒	増やす
誤嚥性肺炎等の合併症の予防および治療が行える体制の整備			
訪問歯科衛生指導を受ける患者数(人口10万人対)	1625.4	1996.6	増やす
循環器病の相談支援に携わる専門職の人材育成			
専門職団体への研修会開催数(脳卒中)	3回	⇒	増やす
てんかん、失語症、高次脳機能障害等の後遺症を有する人への支援体制整備			
失語症者向け意思疎通支援者養成研修修了者数	8名	17名	増やす
高次脳機能障害に関する相談件数	8,465件	10,521件	増やす
就労支援サポート体制の構築と相談支援体制の充実			
県内の両立支援コーディネーター養成研修修了者数	164名	238名	増やす

心血管疾患指標一覧(各指標の出典については、ロジックモデル【指標出典情報】参照)

	計画策定時	R4年度	目標値(R5)
【全体目標】心血管疾患による死亡が減少している			
心疾患の年齢調整死亡率(男)(人口10万人対)	80.3	⇒	65.4
心疾患の年齢調整死亡率(女)(人口10万人対)	42.8	⇒	34.2
虚血性心疾患の年齢調整死亡率(男)(人口10万人対)	21.9	⇒	下げる
虚血性心疾患の年齢調整死亡率(女)(人口10万人対)	7.3	⇒	下げる
心不全の年齢調整死亡率(男)(人口10万人対)	27.6	⇒	下げる
心不全の年齢調整死亡率(女)(人口10万人対)	19.8	⇒	下げる
【全体目標】心血管疾患患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができている			
健康寿命(男)	71.50歳	⇒	延伸
健康寿命(女)	74.58歳	⇒	延伸
急性心不全患者の再入院率(6か月後)	調査後	24.9%(参考値)	下げる
【普及啓発】心不全について正しい知識がある			
心不全について正しい知識を持つ人の割合	53.7%	76.8%	増やす
生活習慣や社会環境の改善			
食塩摂取量	9.4g	⇒	8g
朝食を欠食する人の割合(小学生)	5.3%	5.8%	0%
朝食を欠食する人の割合(若い世代:20~30歳代)	34.3%	⇒	15%以下
朝食を欠食する人の割合(40歳~74歳)	17.1%	17.6%	減らす
肥満傾向にある子どもの割合(男)	5.0%	6.16%	減らす
肥満傾向にある子どもの割合(女)	2.2%	4.63%	減らす
屋内禁煙を行っている飲食店の割合	調査後	⇒	増やす
愛顔の健康づくり応援店の数	307店舗	519店舗	増やす
循環器病の普及啓発・情報発信			
普及啓発の回数(心血管疾患)	12回	⇒	増やす
【予防】心血管疾患の発症を予防できている			
虚血性心疾患により救急搬送された患者数(人口10万人対)	7.22	⇒	
虚血性心疾患受療率(入院)(人口10万人対)	12.0	11.0	
虚血性心疾患受療率(外来)(人口10万人対)	54.0	58.0	
虚血性心疾患全体(入院)(SCR)	118.6	126	
虚血性心疾患全体(外来)(SCR)	146.1	147	
基礎疾患及び危険因子の管理の促進			
喫煙率(男)	26.5%	⇒	下げる
喫煙率(女)	6.7%	⇒	下げる
禁煙外来を行っている医療機関数(人口10万人対)	14.4	⇒	増やす
ニコチン依存管理の実施件数(人口10万人対)	433.3	401.2	増やす
ハイリスク飲酒者の割合(男)	11.0%	⇒	9.5%
ハイリスク飲酒者の割合(女)	7.4%	⇒	6.4%
高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率(人口10万人対)	240.2	⇒	
高血圧症有病者率(男)	47.4%	47.3%	下げる
高血圧症有病者率(女)	34.9%	34.3%	下げる
脂質異常症患者の年齢調整外来受療率(人口10万人対)	65.4	⇒	
脂質異常症有病者率(男)	56.6%	56.6%	下げる
脂質異常症有病者率(女)	52.6%	51.9%	下げる
糖尿病患者の年齢調整外来受療率(人口10万人対)	96.5	⇒	
糖尿病有病者率(男)	13.2%	13.8%	下げる
糖尿病有病者率(女)	6.1%	6.4%	下げる
特定健診受診者のうちメタボリックシンドローム該当者数(人口10万人対)	2,833	⇒	減らす
特定健診受診者のうちメタボリックシンドローム予備群者数(人口10万人対)	2,214	⇒	減らす
運動習慣のある人の割合(男)	30.7%	31.4%	増やす
運動習慣のある人の割合(女)	27.5%	27.1%	増やす

心血管疾患指標一覧(各指標の出典については、ロジックモデル【指標出典情報】参照)

	計画策定時	R4年度	目標値(R5)
市町および保険者が行う特定健診・特定保健指導の充実			
健診受診率(男)	73.0%	⇒	上げる
健診受診率(女)	66.5%	⇒	上げる
特定健診受診率	50.4%	⇒	70%
特定保健指導実施率	26.9%	⇒	45%
突然の症状出現時に、急性期医療を担う医療機関への受診推奨指示の促進			
循環器系領域の一次診療を行う医療機関数(人口10万人対)	45.6	⇒	増やす
【救護】患者ができるだけ早期に専門医療機関に搬送される			
救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間(分)	35.4分	36.9分	短縮
心疾患による救急搬送患者の初診時の死亡数	27人	⇒	減らす
初期症状出現時・発症後に本人及び家族等による速やかな救急搬送要請の促進			
救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動	205回	⇒	増やす
心肺停止疑いの者に対してAEDの使用を含めた救急蘇生法等の適切な処置の実施			
一般市民が目撃した心肺停止に対し、心肺蘇生を実施した傷病者数	255人	⇒	増やす
学校現場での心肺停止に対し、心肺蘇生を実施した傷病者数	0人	⇒	
県立学校でのAEDの設置数	178台	⇒	増やす
救急救命士を含む救急隊員が、活動プロトコールに則した適切な観察・判断・処置の実施			
救急隊の救急救命士運用率	94.5%	92.1%	上げる
MC協議会の開催回数	24回	⇒	増やす
救急活動の事後検証数(心血管疾患)	120例	⇒	増やす
急性期医療を担う医療機関への迅速な搬送体制の整備			
虚血性心疾患により救急搬送された圏域外への搬送率	圏域別	⇒	
【急性期】発症後早期に専門的な治療・リハビリテーション・心身の緩和ケア等を受けることができる			
来院後90分以内の冠動脈再開通達成率(%)	12.3%	15.4%	上げる
急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈インターベンションの実施件数(SCR)	120.7	155	
虚血性心疾患に対する心臓血管外科手術件数(人口10万人対)	12.4	11.0	
急性大動脈解離患者数	23,630人(全国値)	⇒	減らす
急性大動脈解離死亡者数	2,893人(全国値)	⇒	減らす
入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数(SCR)	96.3	105	
心血管疾患患者に対する緩和ケアの実施件数(SCR)	90.3	77	
虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数(SCR)	93.9	75	
虚血性心疾患の退院患者平均在院日数	6.7日	⇒	短縮
心血管疾患の急性期医療に対応できる体制の整備			
循環器内科医師数(人口10万人対)	10.5	11.4	増やす
心臓血管外科医師数(人口10万人対)	2.6	2.9	増やす
循環器専門医数	165名	166名	増やす
心臓血管外科専門医数	21名	23名	増やす
心臓内科系集中治療室(CCU)を有する病院数(人口10万人対)	0.4	⇒	増やす
心臓内科系集中治療室(CCU)を有する病床数(人口10万人対)	1.3	⇒	増やす
心臓血管外科手術が実施可能な医療機関数	5機関	⇒	増やす
24時間専門的治療が実施できる体制の整備			
冠動脈バイパス術が実施可能な医療機関数(人口10万人対)	0.7	⇒	増やす
経皮的冠動脈形成術が実施可能な医療機関数(人口10万人対)	1.7	⇒	増やす
経皮的冠動脈ステント留置術が実施可能な医療機関数(人口10万人対)	1.9	⇒	増やす
大動脈瘤手術が可能な医療機関数(人口10万人対)	0.8	⇒	増やす

心血管疾患指標一覧(各指標の出典については、ロジックモデル【指標出典情報】参照)

	計画策定時	R4年度	目標値(R5)
心血管疾患リハビリテーションの実施体制の整備			
心血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数(人口10万人対)	1.9	⇒	増やす
心身の緩和ケアが受けられる体制の整備			
心血管疾患患者に緩和ケアを提供する医療施設数(人口10万人対)	0.9	⇒	増やす
回復期の医療機関等との連携体制の構築			
循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域連携室等を整備している医療機関数(人口10万人対)	3.6	⇒	増やす
急性心筋梗塞地域クリティカルパスを導入している医療機関数(人口10万人対)	13.1	⇒	増やす
【回復期】合併症や再発予防、在宅復帰のためのリハビリテーション・心身の緩和ケアを受けることができる			
入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数(SCR)	96.3	105	
外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数(SCR)	89.2	97	
心血管疾患患者に対する緩和ケアの実施件数(SCR)	90.3	77	
虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数(SCR)	93.9	75	
虚血性心疾患の退院患者平均在院日数	6.7日	⇒	短縮
心血管疾患リハビリテーションの実施体制の整備			
心血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数(人口10万人対)	1.9	⇒	増やす
再発や重症不整脈など合併症発生時に本人及び家族による速やかな救急搬送要請の促進			
救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動	205回	⇒	増やす
心身の緩和ケアが受けられる体制の整備			
心血管疾患患者に緩和ケアを提供する医療施設数(人口10万人対)	0.9	⇒	増やす
急性期及び慢性期の医療機関や施設、地域の保健医療福祉サービスとの連携体制の構築			
循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域連携室等を整備している医療機関数(人口10万人対)	3.6	⇒	増やす
急性心筋梗塞地域クリティカルパスを導入している医療機関数(人口10万人対)	13.1	⇒	増やす
【慢性期・再発予防】リハビリテーション・心身の緩和ケアを受けることができ、合併症発症時には適切な対応を受けることができる			
在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合	圏域別	⇒	増やす
外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数(SCR)	89.2	97	
虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数(SCR)	93.9	75	
訪問診療の実施件数(人口10万人対)	18,174.4	20,078.9	増やす
訪問看護利用者数(医療)(人口10万人対)	504.1	542.3	増やす
訪問看護利用者数(介護)(人口10万人対)	5604.5	⇒	
薬剤師の訪問薬剤管理指導の実施件数(医療)(人口10万人対)	0.0	0.0	
心血管疾患患者に対する緩和ケアの実施件数(SCR)	90.3	77	
慢性期の医療体制の整備			
心血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数(人口10万人対)	1.9	⇒	増やす
心血管疾患患者に緩和ケアを提供する医療施設数(人口10万人対)	0.9	⇒	増やす
慢性心不全看護認定看護師数	4名	4名	増やす
再発や重症不整脈など合併症発生時に本人及び家族による速やかな救急搬送要請の促進			
救急法等の実技講習会や研修会等の普及啓発活動	205回	⇒	増やす
急性期・回復期の医療機関等との連携体制の構築			
循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域連携室等を整備している医療機関数(人口10万人対)	3.6	⇒	増やす
急性心筋梗塞地域クリティカルパスを導入している医療機関数(人口10万人対)	13.1	⇒	増やす
入退院支援の実施件数 SCR(入退支1)	97.0	109	増やす
入退院支援の実施件数 SCR(入退支2)	75.1	88	増やす
連携に関する窓口を設置している医療機関数	62施設	⇒	増やす

心血管疾患指標一覧(各指標の出典については、ロジックモデル【指標出典情報】参照)

	計画策定時	R4年度	目標値(R5)
心血管疾患患者の在宅での療養支援体制の整備			
訪問診療を実施している診療所数(人口10万人対)	19.9	⇒	増やす
訪問診療を実施している病院数(人口10万人対)	4.0	⇒	増やす
訪問看護師数(人口10万人対)	33.9	⇒	増やす
訪問薬剤指導を実施する薬局数(医療)(人口10万人対)	40.5	⇒	増やす
地域連携薬局の数	12施設	32施設	増やす
循環器病の相談支援に携わる専門職の人材育成			
専門職団体への研修会開催数(心血管疾患)	5回	⇒	増やす
就労支援サポート体制の構築と相談支援体制の充実			
県内の両立支援コーディネーター養成研修修了者数	164名	238名	増やす
【移行期医療】先天性心疾患を有する人への支援体制の充実			
先天性心疾患を有する人に対応できる成人の医療機関の数	調査後	⇒	増やす
移行期医療への理解を進めるための普及啓発の回数	0回	⇒	増やす
成人期の先天性心疾患患者の受診者数	777人(参考値)	⇒	増やす

「脳卒中患者の再入院率（6か月後）」 「急性心不全患者の再入院率（6か月後）」 について

定義：2018年6月～2022年2月の国保・後期レセプトより、
期間中の **再入院患者/退院患者数** とする。

レセプトの集計対象（ICD10）は、

- 脳卒中はI60（くも膜下出血）、I61（脳内出血）、I63（脳梗塞）
- 急性心不全はI50（心不全） とする。

退院時 到達年齢	経過月数	脳卒中					急性心不全				
		退院患者 数	再入院患 者数	再入院率	生存率	累積生存率	退院患者 数	再入院患 者数	再入院率	生存率	累積生存率
全年齢	経過0ヶ月目	44,536	4,775	10.72%	89.28%	89.28%	67,779	3,941	5.81%	94.19%	94.19%
	経過1ヶ月目	34,892	1,348	3.86%	96.14%	85.83%	56,345	3,267	5.80%	94.20%	88.73%
	経過2ヶ月目	32,027	774	2.42%	97.58%	83.76%	50,749	2,034	4.01%	95.99%	85.17%
	経過3ヶ月目	29,205	687	2.35%	97.65%	81.79%	45,628	1,667	3.65%	96.35%	82.06%
	経過4ヶ月目	27,352	542	1.98%	98.02%	80.17%	42,182	1,328	3.15%	96.85%	79.48%
	経過5ヶ月目	25,808	464	1.80%	98.20%	78.72%	39,276	1,133	2.88%	97.12%	77.18%
	経過6ヶ月目	24,419	418	1.71%	98.29%	77.38%	36,921	988	2.68%	97.32%	75.12%
	経過6ヶ月計			22.62%					24.88%		

再入院率の集計イメージ

Confidential

観察可能期間中の最初の入院の退院翌月から6ヶ月目末までの再入院率を集計しました。また経過月別の累積生存率も算出しました。この資料では年齢別の再入院率および経過月別の累積生存率をグラフにまとめたものを紹介させていただきます。

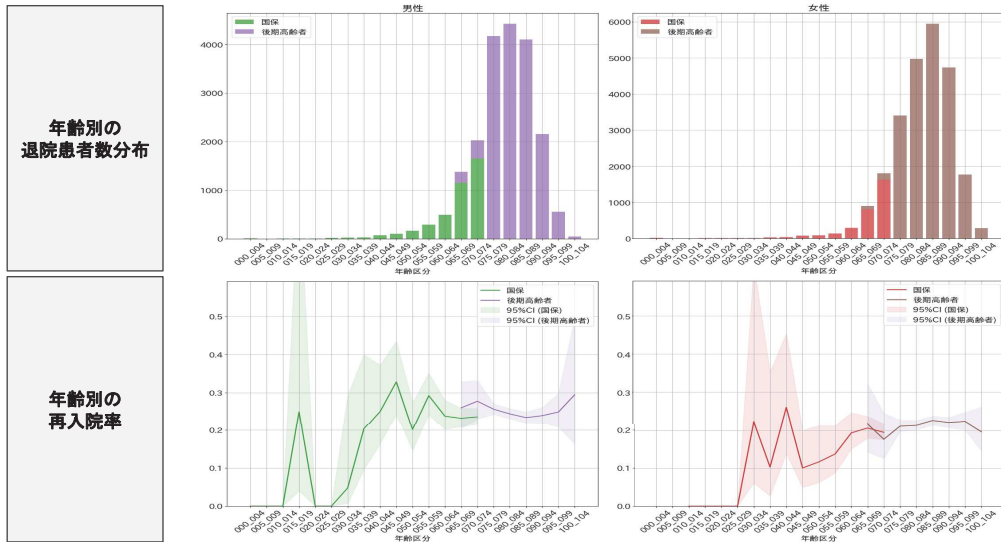


再入院率の計算イメージ（一般的な生存時間曲線の考え方に近い）

経過月数	退院患者数	再入院患者数	再入院率	生存率 (1-再入院率)	累積生存率
1	3	0	0.00%	100.00%	100.00%
2	3	1	33.33%	66.67%	66.67%
3	2	0	0.00%	100.00%	66.67%
4	2	0	0.00%	100.00%	66.67%
5	2	1	50.00%	50.00%	33.33%
6	1	0	0.00%	100.00%	33.33%
合計			66.67%	33.33%	

脳卒中の年齢別の6ヶ月間再入院率

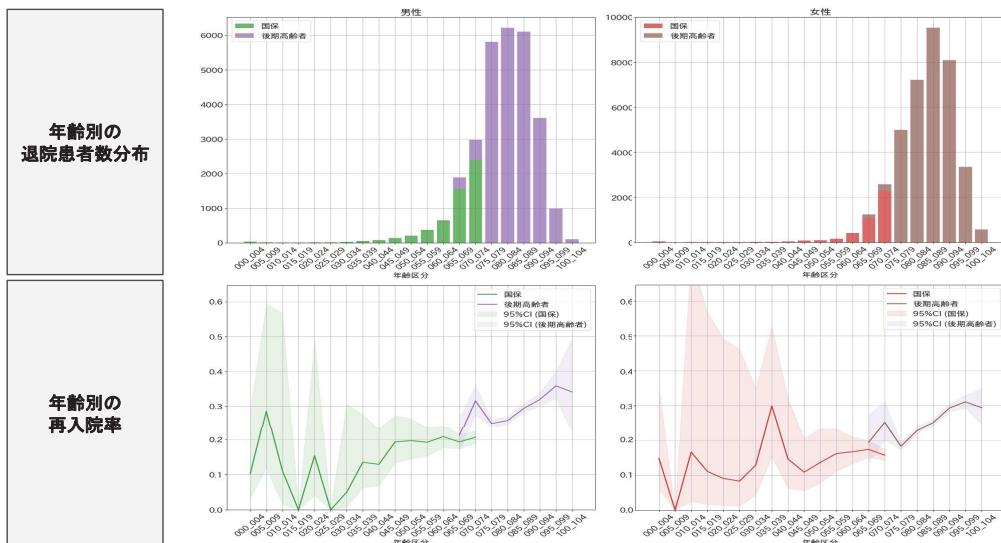
40代以降の再入院率は一定で推移しています。若年層は退院患者数が少ないため再入院率が大きくガタついており95%信頼区間も広いです。



Copyright (C) DeSC Healthcare, Inc. All rights reserved.

心不全の年齢別の6ヶ月間再入院率

高齢になるほど再入院率が増加する傾向にあります。若年層は退院患者数が少ないため再入院率が大きくガタついており95%信頼区間も広いです。なお後期高齢者の65～74歳が国保の65～74歳に比べて再入院率が高いですが、これは後期高齢者の65～74歳が一定の障がいを持つ集団であるためと考えられます。



Copyright (C) DeSC Healthcare, Inc. All rights reserved.